

# 新幼稚園教育要領の改訂のポイント

- 1 園種、年齢や発達の過程を踏まえた指導計画の改善・充実
  - (1)カリキュラム・マネジメントの実施
  - (2)言語活動の充実など指導計画の作成上の留意事項の充実
- 2 「生きる力」の基礎を培う教育・保育の充実
  - (1)幼稚園教育において育みたい資質・能力
  - (2)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
  - (3)特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実
- 3 家庭、地域社会等との連携を生かした特色ある園づくりの推進
  - 教育課程外の教育活動と子育ての支援

## 1 園種、年齢や発達の過程を踏まえた指導計画の改善・充実

### (1)カリキュラム・マネジメントの実施

#### 幼稚園等におけるカリキュラム・マネジメントの重要性

- ・ 教科書のような主たる教材を用いず、環境を通して行う教育を行うこと
- ・ 家庭との関係において、緊密度が他校種と比べて高いこと
- ・ 預かり保育や子育ての支援などの教育課程以外の活動が、多くの幼稚園等で実施されていること

#### 幼稚園教育要領におけるカリキュラム・マネジメント

- ・ 全体的な計画にも留意しながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえて教育課程を編成すること
- ・ 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・ 教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各幼稚園の教育活動の質の向上を図っていくことに努めること

## (2) 言語活動の充実など指導計画の作成上の留意事項の充実

### 主体的・対話的で深い学び

- ・ 幼児教育における重要な学習としての遊びは、環境の中で様々な形態により行われている。主体的な学び、対話的な学び、深い学びが実現できているかという視点から指導の改善を図っていく必要がある。

### 言語活動の充実

- ・ 幼児期における言語活動の重要性を踏まえ、幼児が言葉のリズムや響きを楽しみ、知っている言葉を様々な使いながら未知の言葉と出会う中で、言葉の獲得の楽しさを感じたり、友達や教員と言葉でやりとりしながら自分の考えをまとめたりすることが大切である。

### 見通しや振り返り

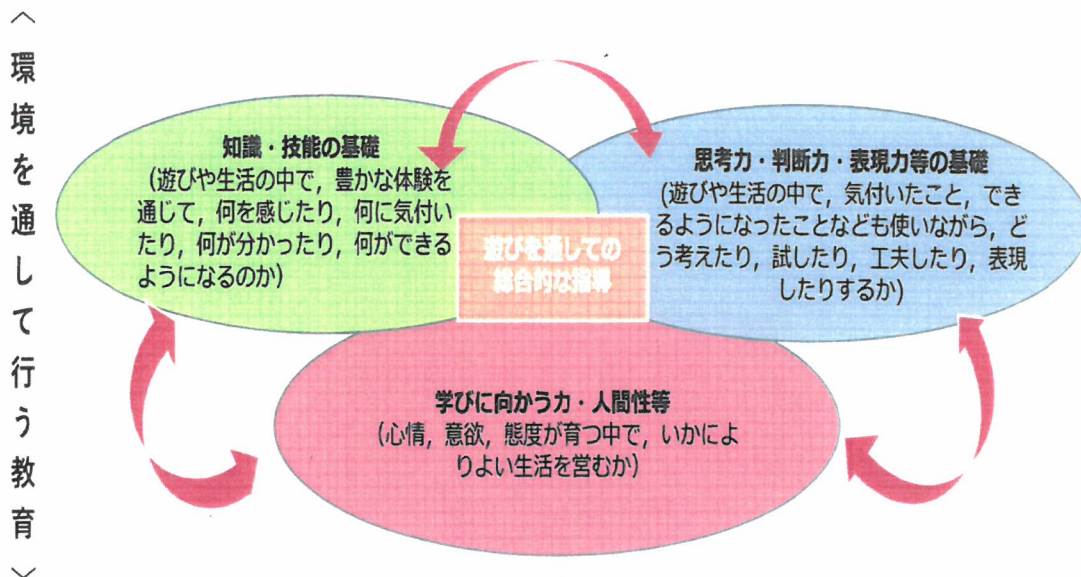
- ・ 幼児が次の活動への期待や意欲を持つことができるために、幼児の実態を踏まえながら、教師や他の幼児と共に遊びや生活の中で見通しを持ったり、振り返ったりするよう工夫する。

### 情報機器の活用

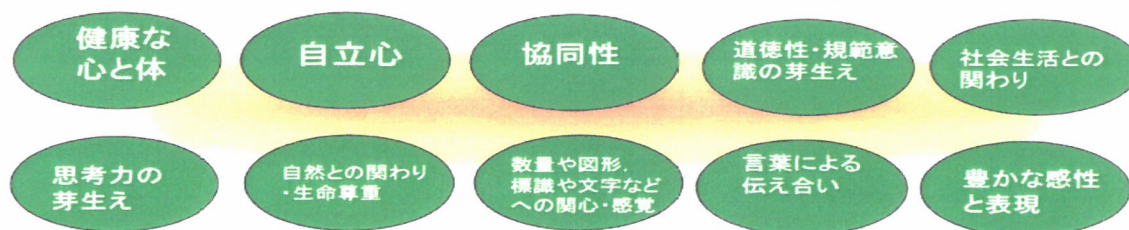
- ・ 幼児教育では、直接体験が重要であることを踏まえつつ、日頃の幼稚園生活では体験することが難しい体験を補完する場合や、幼児がより深く知りたいと思ったり、体験を深めたいと思ったりした場合などがある。情報機器等を効果的に活用して、幼児の直接体験の補完などを計画的に行っていくことが大切である。

## 2 「生きる力」の基礎を培う教育・保育の充実

### (1) 幼稚園教育において育みたい資質・能力



## (2) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」



- ・ 教師が指導を行う際に考慮する幼児の幼稚園修了時の具体的な姿である。  
(到達すべき目標ではない、個別に取り出して指導しないことに留意する)
- ・ 3歳児、4歳児それぞれの時期にふさわしい指導の積み重ねが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながっていくことにも留意する。
- ・ 小学校の教員と5歳児修了時の姿が共有化されることにより、幼児教育と小学校教育との接続の強化が期待できる。

※ 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（平成22年11月）においては、小学校教育の生活科を中心としたスタートカリキュラム編成上の留意点として、幼稚園、保育所、認定こども園と連携協力すること、個々の児童に対応した取組であること、学校全体での取組とすること、保護者への適切な説明を行うこと、授業時間や学習空間などの環境構成、人間関係づくりなどについて工夫することを挙げている。

## (3) 特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実

### 障害のある幼児などへの指導

- ・ 「障害者の権利に関する条約」や「障害者差別解消法」をふまえ、家庭や医療機関、福祉施設などの関係機関と連携し、様々な側面からの取組を示した計画（個別の教育支援計画）や、指導の目標や内容、配慮事項などを示した計画（個別の指導計画）の作成・活用に努める。

### 海外から帰国した幼児や生活に必要な日本語の習得に困難のある幼児の幼稚園生活への適用

- ・ 安心して自己を発揮できるよう配慮するなど個々の幼児の実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うこと。

### 3 家庭、地域社会等との連携を生かした

#### 特色ある園づくりの推進

##### ○ 教育課程外の教育活動と子育ての支援

- ・ 幼稚園では、これまでも預かり保育や子育ての支援を通じて、施設や機能を解放してきたが、今後も「社会に開かれた教育課程」としての役割を更に果たしていくことが必要である。
- ・ 幼稚園生活全体を通じて幼児の発達を把握し、幼稚園生活を更に充実する観点から、預かり保育について、教育課程に係る教育時間を含めた全体の中で計画、実施する必要があることや地域の人々との連携などチームとして取り組むこと。
- ・ 幼稚園が地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を一層果たしていく観点から、子育ての支援について、心理士、小児保健の専門家、幼児教育アドバイザーなどの活用や地域の保護者と連携・協働しながら取り組むようにすること。